

vol. 02

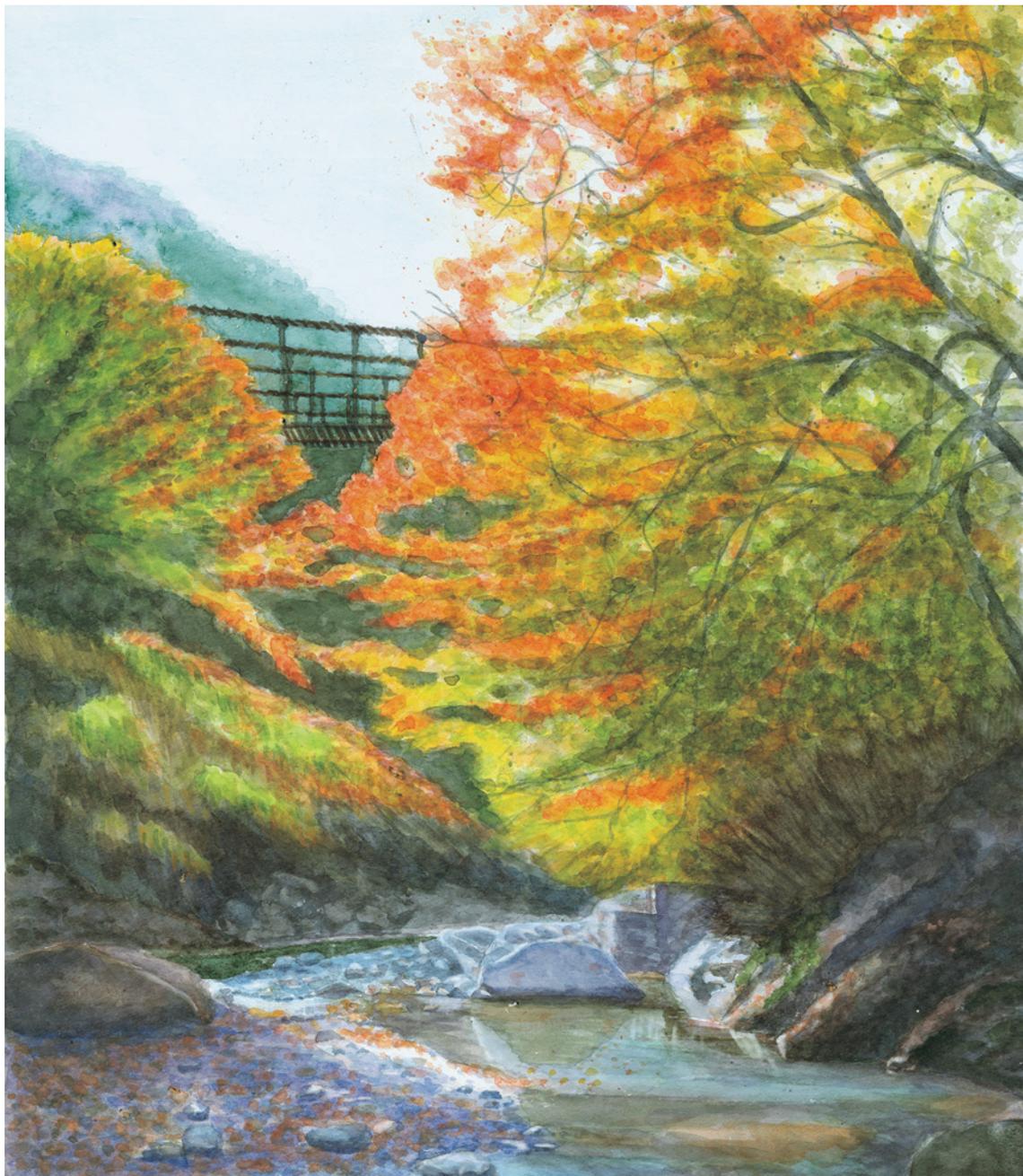
令和2年度 第2号  
(年間4回発行 通巻第156号)

# 組合活性化情報 中央会とくしま

特集

2020年版 中小企業白書・  
小規模企業白書のポイント

徳島県中小企業団体中央会 <http://www.tkc.or.jp/>



# 組合活性化情報 中央会とくしま

vol. 02

令和2年度 第2号  
(年間4回発行 通巻第156号)

特集

2020年版  
中小企業白書・  
小規模企業白書のポイント 2

組合クローズアップ 第6回

徳島県鉄鋼協同組合

4



株式会社小谷義肢

6

組合ホットニュース

11

- ◎徳島市両国本町商店街振興組合  
商店街ホームページ・パンフレットを作成
- ◎徳島県菓子工業組合青年部  
新型コロナウイルス退散を願い、アマビエの和菓子を販売
- ◎クリエイティブ徳島協同組合  
ショッピングセンターアクアシティ出店店舗をリニューアル／徳島市産業支援交流センター出店協力
- ◎フォレストワーク協同組合  
令和2年度徳島県農林漁業優秀経営者選定事業優秀経営者知事表彰を受賞
- ◎多田工業株式会社(徳島製材団地協同組合組合員)  
健康づくり推進活動功労者(企業部門)  
知事表彰を受賞

情報連絡員レポート

15

令和2年7月の景気動向

青年部コーナー

16

◎青年部活動トピックス

◇令和2年度徳島県中小企業青年中央会第3回役員会◇他

女性部コーナー

17

◎女性部活動トピックス

◇とくしまレディース中央会 会員募集中!◇

中央会トピックス

18

◎令和元年度補正・令和2年度補正「ものづくり・商業・サービス  
生産性向上促進補助金」交付申請説明会を開催

◎令和2年度第1回BCP策定講座を開催

中央会事務局職員

十人十色

19

◎連携推進課係長 阿部 浩士

お知らせコーナー

20

◎新型コロナウイルス感染症対策

新型コロナウイルス感染症感染拡大予防の徹底を!

編集  
後記



表紙絵

作者: 徳島県中小企業団体中央会顧問 布川 嘉樹 氏

タイトル: 「秋の奥祖谷」

国の重要文化財は西祖谷にありますが、東祖谷のかずら橋のほうが自然が豊か  
できれいです。雄と雌橋が有るので二重かずら橋とも言います。かずら橋は祖谷  
13橋といわれ生活道として利用されましたが、現在は西祖谷山村と共にこの2橋  
だけが残っています。800年前平家一族が志度の浦の戦に敗れ隠れ住んだところ  
といわれています。



# 特集

## 1

# 2020年版 中小企業白書・ 小規模企業白書のポイント



中小企業庁から2020年版中小企業白書・小規模企業白書が発表されました。

同白書の骨子では、テーマ別に「価値」を生み出す中小企業者・小規模事業者について分析し、下記の内容が列記されています。

- 中小企業・小規模事業者に期待される「役割・機能」や、それぞれが生み出す「価値」に着目し、**経済的な付加価値の増大**や、**地域の安定・雇用維持**に資する取組を調査・分析。
- 経営者の参考になるデータや、**具体的な取組事例**を豊富に紹介。

また、新型コロナウイルス感染症の影響や、中小企業・小規模事業者における具体的な対応事例等についても掲載されています。

なお、本誌では、そのポイントを紹介します。詳細については、中小企業庁ホームページで  
ご参照ください。

## 2020年度中小企業白書・小規模企業白書の要点

### ①新たな価値を生み出す中小企業

#### 1. 中小企業を取り巻く環境と「付加価値増大」の必要性

- 我が国の中小企業は、残業規制や同一労働同一賃金といった「働き方改革」をはじめ、最低賃金の継続的な引上げ、被用者保険の適用拡大など、相次ぐ制度変更への対応が必要。
- 中小企業の労働分配率は高止まり。労働者への分配に対する意識が高まる中、起点となる付加価値の増大が不可欠。

#### 2. 差別化や新事業展開による「新たな価値」の創造

- 新たな製品・サービスの開発など、顧客に新たな価値を提供するような他社との差別化は、付加価値の増大につながり、生産性の向上に貢献。
- 一般に、販売数量と販売単価は、トレードオフの関係と考えられているが、新たな事業領域に進出した企業の約4割で、数量・単価が共に向上。

### 3. オープン・イノベーションや人材投資による可能性の拡大

- 外部の技術やノウハウの活用は、中小企業の可能性を拡大し、新たな技術開発や製品・サービス創出のきっかけに。特に、異業種企業や大学と連携している企業で生産性が大きく向上。
- 中小企業が最も重視している経営資源は「人材」。一方で、我が国の人的資本投資（OFFJT）は他国と比べて少ない。人材への投資に取り組むことで、生産性をさらに伸ばせる可能性。

### 4. 製品・サービスの優位性の「価格」への反映、取引条件の改善

- 製品・サービスの優位性が「価格に十分に反映されていない」とする企業が、約半数。
- 中小企業が最終的に獲得できる付加価値額を増やしていくためには、優位性を顧客に発信していく取組や、価格競争からの脱却、発注側事業者との取引条件の改善が重要に。

## ②地域で価値を生み出す小規模事業者

### 5. 地域の生活やコミュニティを支える小規模事業者

- 人口密度が低い地方部ほど、暮らしの様々な面において、小規模事業者の存在感が大きい。
- 年齢層を問わず、多くの地域住民が、小規模事業者を通じて「地域とのつながり」を感じており、地域の課題解決に向けた中心的な役割を担う存在としても、小規模事業者への期待は大きい。

### 6. 地域の多様な人材活躍の場を提供する小規模事業者

- 小規模事業者は、高齢者や女性が継続して長く働ける場を提供。小規模ならではの柔軟な働き方を可能としている事業者も多く存在。
- 魅力ある労働環境を提供するためには、売上や利益を確保することも重要。

## ③中小企業・小規模事業者と支援機関

### 7. 経営者側から見た、支援機関の有効活用策

- 社外の相談相手からのアドバイスを受けることで、自社の強みや経営課題がより明らかに。
- 単に経営計画を策定するだけでは不十分。外部支援も有効に活用し、計画に基づくPDCAサイクルを回していくことが重要。

### 8. 支援機関側に求められる組織間連携の取組

- 小規模事業者を主な支援対象とする商工団体（商工会・商工会議所・中央会）は、一人当たりの対応事業者数が多い。伴走型支援を行っていく上で、他の支援機関との連携が重要に。
- 「営業・販路開拓」や「財務」の分野では、支援機関同士の連携が進んでいるが、「商品・サービスの開発等」、「技術・研究開発」などの分野では、更なる連携も期待される。

引用：2020年版中小企業白書・小規模企業白書概要（中小企業庁）

2020年版中小企業白書・小規模企業白書は、中小企業庁のホームページで公開されています。詳細については、中小企業庁ホームページでご参照ください。

<http://www.chusho.meti.go.jp/pamflet/hakusyo/index.html>

本会は、多種多様な業種の組合等が会員となっていていただきます。各組合がその特徴を活かし日々活動を続けており、今後の組合活動のご参考になるよう、会員の皆様方の仲間を取材し、紹介していきます。

## 徳島県鉄鋼協同組合

### 安全で安心して働ける団地、美しい団地・災害に強い団地を目指して



団地全景写真

### ☆組合の設立背景と現況

徳島県鉄鋼協同組合は、昭和30年2月に徳島市において、戦後の経済復興の基幹産業の一躍を担ってきた徳島県内鉄鋼業者13社によって、業界の近代化や合理化、騒音をはじめとする公害や交通難等の問題について、工業団地の形成による解決を図るため設立されました。

昭和39年には、徳島県内初の通商産業省の中小企業工場集団化事業の指定を受け、指定団地第1号として徳島県が造成した小松島市金磯町の団地に集団移転しました。

当時の日本経済は、ベトナム戦争特需をはじめ公共事業の拡大や民間の設備投資が活発化し、経済拡大の前兆期にありました。このような経済的な背景から、団地への集団移転と同時期に共同受電設備、従業員宿舎、铸造工場、ガソリンスタンドの設置などのハード事業を中心に共同事業を積極的に展開しました。

しかしながら、国際化の進展や金融引締めなどの要因で、共同受電事業以外のハード事業の見直しを余儀なくされ、その後は環境防災事業、福利厚生事業などのソフト事業に重点を置いた事業を展開してきました。

組合では、様々な経済不況をはじめ幾多の試練や困難に直面し、その都度組合員が一致団結して、英知を結集し、困難を乗り越え、組合員数は現在17社となりましたが、時代の流れの中で、その業種も多様化している状況にあります。

### ☆「率先避難企業訓練」の推進

当団地は、北側と東側が海に面しており、小

松島市の津波ハザードマップでは3m～4mの浸水が想定されており、避難できる場所が少ない状況にあります。

加えて、南海トラフを震源とするM8～M9クラスの地震の発生確率は、今後30年以内に70%～80%程度と予測されており、南海トラフ巨大地震への対策が急務となっています。

このような中、組合では「災害に強い団地づくり」を掲げ、平時から防災に関する基礎的知識や技術を身につけ、防災訓練の実施などにより団地の防災力を強化し、被害を最小限にとどめることを目指しています。

特に防災への取り組みの推進役となっているのが青年部であり、青年部が中心となり組合内部で検討した結果、平成23年3月に防災マニュアルを作成しました。策定後も防災対策内容の充実に向け、防災マニュアルの見直しを適宜行っています。

また、防災に係る各種研修会並びに講習会の実施も積極的に行い、防災に係るあらゆる事象を考慮した知識の習得に努めています。

平成25年10月から組合では、巨大地震などが起こった際、津波からの避難を周囲に呼びかけながら先頭に立って避難する「率先避難企業訓練」を実施しています。

なお「率先避難」とは、災害発生時に率先して避難行動をとることで、周囲にいる人の避難を促し人命を守ることに寄与するという考えで実施しているものです。その点から当組合の取り組む率先避難企業訓練の実施は、主体的な避難活動を取るための避難3原則「①想定にとらわれるな、②最善を尽くせ、③率先避難者たれ」を遵守することとしており、組合の団地全体で

の率先避難を基本とした防災対策の取り組みの枠を超え、従業員のみならず、顧客や近隣住民などの安全確保に努める活動として行っています。

率先避難訓練では、地震発生を想定し、参加者は「津波が来るぞ」「逃げて下さい」と近隣住民に声をかけながら避難し、避難経路と避難場所を確認するほか、AEDを使用した心肺蘇生法や初期消火活動などの実地講習も行っています。

当該訓練には、毎回組合員及び従業員、組合青年部など約150名以上が参加し、団地全体の防災意識が向上しています。

平成29年11月には、当組合は、優れた防災活動が認められ、平成29年度「未来を守る防災活動賞」事業所部門で、徳島県知事表彰を受賞しました。



率先避難企業訓練

## ☆「率先避難ウォーキング愛好会」の結成と活動

組合が訓練を行うなど防災に力を入れていることから、組合員企業の従業員有志が、南海トラフ巨大地震に備え、より素早い行動につなげていくため、平成24年11月に「率先避難ウォーキング愛好会」が結成されています。

愛好会では、毎月1回第2金曜日の午前7時から、団地近くの金磯南雨水ポンプ場や赤石山にある住吉神社参道など、団地周辺の避難場所や経路を確かめながら3km～4km歩いています。毎回、ウォーキングコースを変えるなどしていますが、時間的な制約などにより、参加者が減少傾向となっています。

愛好会による定期的なウォーキングの開催により、小松島市外から通勤する従業員も周辺の地理に詳しくなっています。

また、ウォーキングには、様々な業種の組合員が参加しており、防災意識を高めるとともに、普段顔を合わせる機会が少ない異業種間の交流を深める機会にもなっています。

## ☆（協）鳥取鉄工センター・（協）米子鉄工センターとの3協同組合間による災害時組合間連携協定の推進

平成26年5月に災害時の相互支援や平常時の交流促進を目的に災害時連携協定を締結している鳥取県中央会と徳島県中央会の後押しで、平成27年1月に当組合と鳥取市の協同組合鳥取鉄工センター、米子市の協同組合米子鉄工センターの3協同組合間において、災害時の相互支援や平常時の交流促進を目的に災害時組合間連携協定を締結しました。

同協定では、地震などの災害が発生した場合に事業を継続できるように支援物資や資材の提供、復旧作業の人員派遣などを行う内容となっています。

鳥取・徳島両県の3協同組合は、海に近い立地で津波をはじめとする自然災害への対策が急務でありました。その対策として、災害時組合間連携協定を締結することで災害に備え、また協定書の実効性を確保するため、共同防災訓練の実施や企業視察、意見交換会などにより、平時から組合間で交流をし、絆を強めていくこととしています。

## 災害時組合間連携協定書調印式



③協同組合による災害時組合間連携協定書調印式

## ☆業界の将来を見据えた今後の活動

組合事業としては、今後も共同受電事業を中心に、組合員企業の経営改善支援、団地の環境防災、組合員従業員の健康管理などの充実を図り、組合員が団結してそれぞれの事業が行えるように取り組んでいきます。

また、組合員一丸となり経営及び技術の改善向上はもとより、更なる地域社会への貢献と皆様のニーズにお応えすることのできる団地として、地域経済発展の支えとなって活動していきます。

南海トラフ地震の発生が叫ばれる中、中小企業の事業継続の取り組みの重要性が求められ、特に中小企業に求められる役割として、地域の雇用や経済を支える企業としての自覚を持ち、事業継続リスクへの対応力を強化することが求められています。

組合では、巨大地震・巨大津波への備えを重点目標とし、小松島市との連携の強化などにより、「災害に強い工業団地」を目指し、ハード面(団地内の災害対策の環境整備)、ソフト面(防災意識の高揚のためのセミナーの開催、訓練の実施など)の両面により、その実現に取り組んでいきます。

## 組合プロフィール

### 徳島県鉄鋼協同組合

住所：〒773-0007  
小松島市金磯町8番90号  
電話：0885-32-1919  
FAX：0885-32-1923  
理事長名：坂本 守  
業種：鉄鋼製品製造業、非鉄金属製造業、運送業、倉庫業、卸売業、小売業、サービス業



組合員数：17社  
設立年月日：昭和30年2月2日

理事長  
坂本 守氏



## 株式会社小谷義肢

中央会では、平成24年度から始まった補正事業「ものづくり補助金」の地域事務局として、ものづくり・商業・サービス分野において独自の事業展開に取り組む事業者を対象に、補助金交付や事業推進支援を行っています。このコーナーでは、本補助金を活用して成果を上げておられる県内中小企業の皆様方を「ものづくりの達人」としてご紹介しています。

第23回目は平成26年度から3回ものづくり事業に取り組まれた『株式会社小谷義肢』をご紹介します。同社は、患者に寄り添った各種装具のオーダーメイド生産の効率化を目指した革新的な義肢装具製造システムを構築し、市場における自社の優位性を確立されて来られました。

今回は、小谷和男社長にお話を伺いました。

**1** 御社は、昭和45年6月に小谷義肢として徳島の地で開業されていますが、当地で開業された経緯や義肢装具開発の歩み等について教えてください。

昭和27年6月1日徳島大学医学部に整形外科学教室が開講となり、初代永井三郎教授の後を引き継いだ山田憲吾教授になって後の昭和31年に、助教授として野島元雄先生（愛媛大学初代教授）が京都大学から赴任する際に、当社の先代である父（小谷芳男）を義肢装具の研究に誘って頂いたのが当社の始まりです。

当時、大正時代から続く義肢・装具製作所の大井製作所（京都市）に勤務していた父は、昭和31年から徳島大学医学部附属病院整形外科開発研究技術員、厚生省サリドマイド児用上肢電動義手開発特別研究技術員、千葉国立下志津病院等全国の療養所の補装具製作指定技術員として活動し、昭和45年6月に徳島の地で小谷義肢を開業しました。開業後も徳島大学と共同研究を行うことになり、進行性筋ジストロフィー症歩行用の下肢装具の開発・製作のため、野島先生より数々の技術開発の指導を受けました。

開発した進行性筋ジストロフィー症歩行用



(株)小谷義肢・本社外観



小谷和男社長

「徳大式ばね付き下肢装具」は、当時非常に高く評価され、平成3年に発行された義肢装具事典に徳島県で開発された装具としては唯一掲載されています。

徳島大学は当時、進行性筋ジストロフィー症用装具とサリドマイド児用義手で、全国的に有

名になりました。特に、世界で初めて開発された電動のサリドマイド児用上肢電動義手は、立石電機中央研究所（現オムロン株式会社）も加わり、この研究によりその後の義肢・装具の開発が飛躍的に進み、筋電義手開発の一助となりました。



徳大式ばね付き下肢装具（復元）（写真・右端）

**2** 御社は、ものづくり補助金事業では平成26年度から平成28年度、平成29年度と、主にオーダーメイドで製作する各種義肢装具の生産の効率化に取り組まれています。それぞれの事業成果、今後の展開等についてお伺いします。

平成26年度「障害者・高齢者・児童向け装具製作工程のIT化によるQCD（品質・価格・納期）の改善」の取り組みでは、旧型機器からの移行も計画通り進み、導入機器であるCAD/CAMインソール（靴型装具用材料）製作システムは、継続的に使用しています。旧型機器に比べ機能が進化しているために、多様な形状への対応、生産供給の安定化および生産性向上をもたらせ、装具の販売数の増加に繋がって

ます。

現在は、次のステップへの準備も進み、複合製品の提供について具体的に製品化を計画しているところです。



CAD/CAMインソール切削機（平成26年度導入）

平成28年度の「3次元測定器及び製造機器等を活用した義肢装具製造システム革新事業」では、患者の全身各部位を3次元計測できる3Dスキャナーとそのデータで幾何学形状を具現化するCADソフトの導入で、時間短縮、材料ロス削減、技術伝承の確立を図りましたが、生産性向上までは至っていません。



3Dスキャナー（平成28年度導入）

義肢装具成形機の導入は、高精度な製品を提供できるようになり、顧客満足度の向上を図ることができました。今後、切削機の導入により生産性の向上を目指します。

平成29年度の「義肢装具三次元切削システム導入による手作業の変革事業」では、最新式の遠赤外線方式のインフラレッドオーブンを導入し、旧式オーブンから完全に移行が完了し、現在フル稼働しています。

手作業の変革を目的とした義肢装具三次元切削機（オリジナルCAM）の導入は現在、時間短縮、材料ロス削減、技術伝承の確立を目指して、試行錯誤しながら積極的に展開しています。



義肢装具三次元切削機（平成29年度導入）

### 3 デジタル社会の出現は義肢・装具の今後にどのような影響をもたらせると思われますか。その方向性についてお聞かせください。

欧米諸国では、工程が手作業からデジタル化への移行が進み、標準化しつつあります。日本とは保険の仕組みが異なり、義肢・装具を製作

する際に、医師が患者に直接処方箋を交付し、患者自らが選択した製作所に処方箋を持ち込み、製作する仕組みになっています。

日本では必ず病院経由で製作する仕組みです。CAD/CAMシステム等の機器の導入だけでは簡単に業務の完全移行は難しく、障害者総合支援法や医療保険制度等の改正を望みます。学会等において、義肢・装具の製作費への加算に向けたエビデンス確立について問題提起が始まったところ です。

さらに、高齢化と少子化に伴い、国家資格である義肢装具士（略称：PO）取得のための受験資格となる大学や専門学校の卒業生が減少しています。

義肢装具等の製作所においては、手作業工程のデジタル化は必要不可欠なものです。それを実現するためにその準備として、ものづくり補助金事業は、この業界にとって救世主となる大事な事業であると考えています。

### 4 最近では様々な障がいのある方が、パラリンピックや世界選手権などにおいて、陸上競技、車いすテニス、バスケットボール、水泳などの競技で、活躍している映像をよく目にするようになりました。また、日常生活・社会生活においても、義肢を着けた人たちも数多く見られ、少し前では考えられなかったことです。

夢や希望は、人生を豊かにします。スムーズな動きと強靭さを併せ持つ義肢・装具の現状をお聞かせください。

オリンピックイヤーでメディア等に義肢等がたくさん取り上げられ、様々な企業が、各競技の実施に向けて研究を重ね、協力体制が確立され始めた矢先にコロナ禍となってしまいました。

ところで、海外で開発された製品（義肢装具）を国内の選手が使用しても、体格、体力等の違いにより、必ずしも良い競技結果が生まれるとは限りません。基本的には人それぞれに合った製品の開発に行きつきます。

これからの課題はむしろ、種目に関わらず競技内容を理解し、競技に興味を持つ障がいのある方の育成と各競技の練習を許可する施設の拡充が必要であると思います。

例を挙げると、車いすバスケットは使用可能な体育館の不足により、活動が限定され優秀な選手を育てられない環境にあります。車椅子の使用により、衝突転倒時の体育館の床への破損行為が多いため、ボールの使用や衝突行為が発生する競技を中心に体育館の利用を制限され、練習することができない施設が多い状況となっています。

もう一つの課題は、日常生活で使用している義肢、装具、車椅子等での競技参加は不可能であり、各種目専用の補装具が必要なことです。特殊な義肢・装具・車椅子等の製作には、高額な費用が必要ですが、日本には「公費」として助成してくれるシステムは存在しません。国内ではまだ少人数ですが、プロ契約を結び、義肢・装具の製作に対する費用の自己負担が軽減できている選手も出始めています。

このような課題が解決できないと、すそ野の広い「若手選手育成」などは夢のまた夢であり、



CAD/CAMインソール（靴型装具用材料）

国の考え方、国民の意識改革が必要であると思います。

## 5 高齢社会では足、腰が痛いなどで歩きづらいという人の割合は増え、健康的な生活のサポートを考えなければならない時代になっています。歩行サポートに対する装具の開発動向、義肢装具関わる課題等についてお聞かせください。

疼痛改善には、どの部位においても治療方針、治療内容、手術方式等日進月歩の開発が見られます。義肢、装具においても、各国で盛んに開発が行われている現状にあります。治療方針の改進により、装具処方にも変化が生まれています。

腰の傷害においては、疼痛部位でない足の装具処方があり、国内外のエビデンスを重要視し、日々の治療に利用されています。痛みのある部位だけの解決でなく、全身のアライメント（体重支持位置の確認）を考えサポートしていく方向へ変革しつつあります。

人材育成の分野では、義肢装具士（PO）資格の知名度は低く、同資格の有免許者数は養成校（大学、専門学校）の学生数と比例して減少傾向にあります。そこで、義肢装具製造企業では、今後益々デジタル化による数値データの取得、描画システムなどIT技術の活用が重要で



可動式階段昇降歩行訓練機（平成29年度導入）

あると強く感じています。

今後、さらに少子化が進み人材不足も深刻化し、歩行サポートに限らず、どの装具においてもデジタルの利活用への導入は加速するものと

考えられます。国内義肢装具製造企業の多くが、それに伴う法改正の遅れを痛感しており、早期の障害者総合支援法や医療保険制度等の改正を望んでいる状況となっています。



## 企業の概要

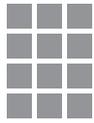
- 会社名 株式会社小谷義肢
- 所在地 徳島市徳島町3丁目76番地
- 電話 088-652-1977
- FAX 088-652-1917
- E-mail info@odani-gishi.co.jp
- HP <https://www.odani-gishi.co.jp/>
- 代表者 代表取締役 小谷 和男
- 設立年月日 昭和45年6月1日
- 従業員数 11名
- 業種 医療用品製造業

### 【取材を通して】

小谷社長に、仕事をされている上で一番の喜びについてお伺いしたところ、義肢装具を提供することで、病気やケガなどで手足を失い不自由になったご本人だけでなくご家族全体の喜ぶ姿を見ることができたことが一番嬉しかったと答えて頂いたことが印象に残りました。

また、義肢装具の製作を通して、お客様一人一人に寄り添い、夢や希望を叶えるお手伝いをすることにより、人生を幸せに、快適に過ごすことができる素晴らしいサービスを提供されている姿に感動しました。

小谷社長様この度はお忙しい中ありがとうございました。



# 組合ホットニュース

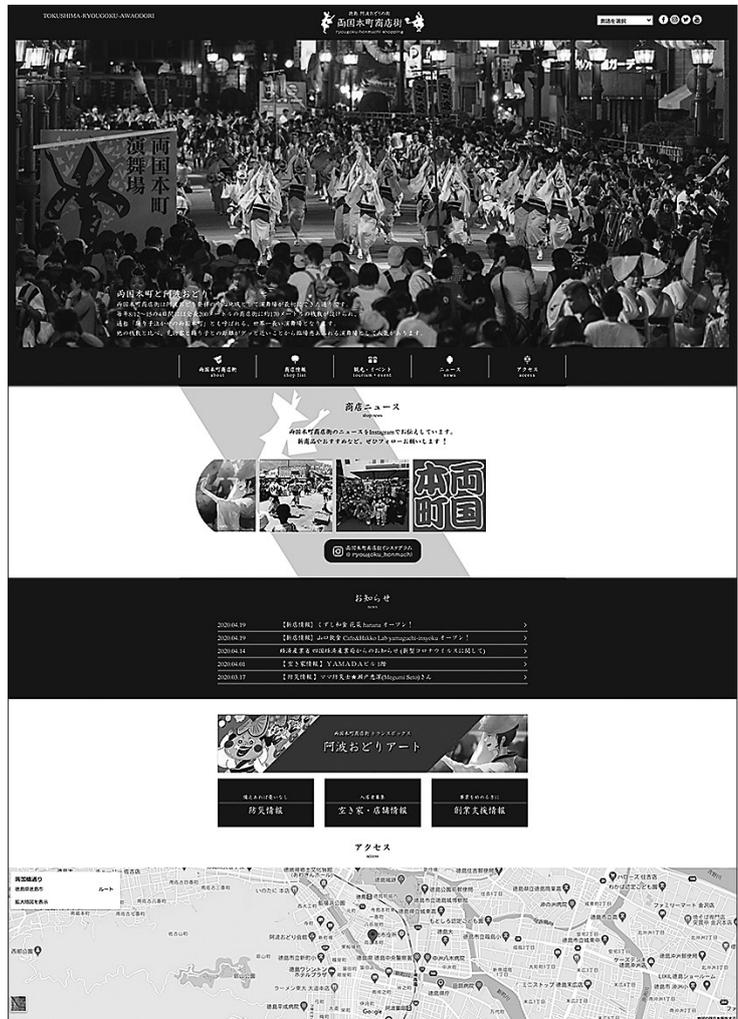
## 商店街ホームページとパンフレットを作成 ～ 徳島市両国本町商店街振興組合 ～

徳島市両国本町商店街振興組合は、経済産業省の補助事業「商店街活性化・観光消費創出事業」を活用し、集客力の強化を図るため、商店街ホームページとパンフレット（B3版）を作成しました。

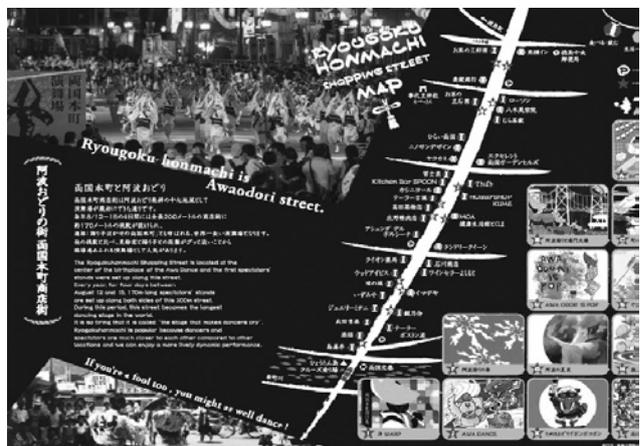
ホームページは、阿波踊りの演舞場としても知られる商店街と踊りの関わりのほか、店舗や市内の観光地などの情報を掲載しています。今後、阿波踊りの動画を載せる予定となっています。

パンフレットは、商店街のお勧めの商品をメインに紹介し、商店街の歩道にある配電用地上機器（トランスボックス）に描いた阿波踊りのアート作品12点も併せて地図に表示しています。同パンフレットは、1万1千部作成し、商店街の全39店舗や徳島県内の観光施設などに設置しました。

組合では、新型コロナウイルスによる危機を乗り越えようと、商店街一丸となって各方面に魅力を発信しており、散歩がてら気軽に立ち寄って欲しいと考えています。



徳島市両国本町商店街振興組合HP  
<http://ryougoku-awaodori.com/>



徳島市両国本町商店街振興組合が作成したパンフレット

## 新型コロナウイルス退散を願い、アマビエの和菓子販売 ～ 徳島県菓子工業組合青年部 ～

徳島県菓子工業組合青年部に所属する和菓子店では、新型コロナウイルスの早期終息を願い、疫病退散に御利益があるとされる妖怪「アマビエ」をかたどった和菓子「練り切り」を販売しました。

アマビエの和菓子の販売は、同組合青年部長の阿南市富岡町の「御菓子処 もみじや」岡澤孝浩社長が呼び掛けたもので、4市町（徳島・鳴門・阿南・美馬市、北島町）の8店舗が独自にデザインした商品を販売しました。

アマビエの練り切り作りは、岡澤孝浩社長が、「新型コロナウイルスの感染終息を願い、長期の自粛生活が続く県民を楽しませたい」と考え発案しました。アマビエのデザインは、江戸時代の瓦版に記されたアマビエの絵を参考にしてイメージを膨らませたもので、餅生地には白あんを混ぜ、紫、ピンク、水色、黄の4色を着けた練り切りで色鮮やかな和菓子となっています。

令和2年4月25日に「もみじや」でアマビエの和菓子の販売を開始したところ、縁起物としての贈答品や可愛いデザインを評価して購入する人が相次ぎ、毎日完売するほどの人気商品になりました。

アマビエは、江戸時代に熊本県の海から現れたとされる体の半分が人間、半分が魚の姿をした妖怪で、疫病の流行を予言し「私の姿を描いた絵を人々に見せるように」と言い残したと伝えられています。

アマビエの和菓子販売した徳島県菓子工業組合青年部員は、練り切りをきっかけに家族で和菓子の魅力や職人の技術に触れてもらい、自粛期間を少しでも楽しんで欲しい。またアマビエの御利益で新型コロナウイルス感染症が早期に終息し、県内の和菓子業界が盛り上がることを願い、期待しています。



「もみじや」が販売した「アマビエの和菓子」



「もみじや」が販売した「アマビエの練り切り」を自分で作れるキット

ショッピングセンターアクアシティー出店店舗をリニューアル/徳島市産業支援交流センター出店協力  
～ クリエイティブ徳島協同組合 ～

クリエイティブ徳島協同組合は、平成28年4月23日から徳島県吉野川市鴨島町の商業施設「ショッピングセンターアクアシティー」に、会員の職人が手掛けたオリジナル製品を展示販売する「ハンドメイドショップ クリエイティブ徳島」を出店し、知名度アップと販路の拡大を図ってきました。

組合では、商業施設の空きスペースを借り、匠の技を駆使した木工・藍染製品やジュエリーなど約500点を展示販売し、併せて藍染商品の展示会、子供向けの工作教室などイベントも随時開催するほか、定期的に出店店舗を模様替えしており、令和2年6月2日に、藍染製品、木工製品、布小物、ジュエリー、マスク、アクセサリなどの商品を充実させ、リニューアルしました。



ショッピングセンターアクアシティー出店店舗

また、同組合は、令和2年7月1日に徳島市がJR徳島駅前のアミコビルに整備した「徳島市産業支援交流センター」1階に、木工や藍染めなど地場産品を展示販売するショールームの監修や運営、組合員を始めとするものづくり事業者の出店に協力しました。

今後、組合では、徳島市産業支援交流センターに対して、展示品や展示事業者の選定、売り場作りや催事などを提案していく予定です。また、これまで行ってきたアクアシティーでのイベントも定期的な開催を目指したいと考えています。

加えて、組合では、「自分達で売り場を作り、売り場を育て、販路拡大や製品開発を行う一方、価格競争に陥らず、消費者の方に、より良い本物の手作り品を提供する。」という原点に立ち返り、地場産業やものづくりを支援し、活性化に協力していきたいと考えています。



徳島市産業支援交流センター出店協力店舗

**令和2年度徳島県農林漁業優秀経営者選定事業 優秀経営者知事表彰を受賞**  
 ～ フォレストワーク協同組合 ～

令和2年6月8日（月）徳島県庁において、令和2年度徳島県農林漁業優秀経営者選定事業に係る表彰式が行われ、フォレストワーク協同組合が優秀経営者知事表彰を受賞されました。

徳島県農林漁業優秀経営者選定事業は、全国農林水産祭行事の一環として実施されており、地域農林漁業発展の先駆的な役割を果たしている農林漁業者を選定し、その業績をたたえとともに、県民の農林漁業に対する認識を深め、農林漁業者の技術改善及び経営発展の意欲の高揚を図るため実施されています。

同組合は、平成22年11月に設立され、長年にわたり地域の林業振興と雇用の確保に取り組まれ、審査会において、林産部門で経営状況が優秀であると高く評価されました。



賞状を授与されるフォレストワーク協同組合  
西原正彦代表理事

**健康づくり功労者（企業部門）知事表彰を受賞**  
 ～ 多田工業株式会社（徳島製材団地協同組合 組合員）～

令和2年9月8日（火）徳島市の徳島グランヴィリオホテルにおいて、健康づくり推進活動功労者表彰表彰式が開催されました。

表彰式典では、健康づくり推進活動に貢献のあった個人と企業に徳島県知事表彰が贈られ、企業部門においては、多田工業株式会社が表彰されました。この受賞を機に、さらに一段のご発展ご躍進をご期待申し上げます。受賞おめでとうございます。



企業部門で受賞した多田工業株式会社

# 情報連絡員レポート(前年同月比)



この報告結果は、徳島県下の中小企業組合(協同組合、商工組合等)の役員49名に委嘱している中小企業団体情報連絡員による報告を抜粋掲載しております。

## 《全体の景況》

家電製品卸売業・小売業ではステイホームや猛暑により季節商品の動きが好調。また緊急事態宣言解除による経済活動の再開、各種補助金や給付金の効果が一部の業種ではあった様子。

一方、依然として続く原材料高や一時期値下がり傾向にあった燃料価格の上昇に加えて、新型コロナウイルスの影響により厳しい状況が続いており、先行きを不安視する声が多く業種から寄せられた。

景気は米中貿易摩擦や日韓関係の悪化など緊迫する国際情勢、また我が国をはじめ世界中で出口の見えない新型コロナウイルス問題など国内外経済の下振れリスクが顕著化してきており、一部に持ち直しの動きがあるものの景気の低迷が続いている。県内中小企業においても、更なる景気の悪化に備える必要がある。

## 《製造業》

### 《食料品》

【味噌】前年同月比、みその生産量は87.2%出荷量は98.3%となった。みその生産量は下降、出荷量は上昇するも低調である。新型コロナウイルスにより業務用味噌売上低下、家庭用味噌は巣ごもり効果で現状維持。

【漬物】漬物製造業ではコロナウイルスの影響が多少改善しつつあったが、再度の感染者増で操業時間短縮の事業所も出てきている。また製造者の不況で予約数量を変更される農家も出てきている。

### 《繊維・同製品》

【縫製】コロナ感染第2波により、消費者も不要不急の外出は避けているので小売店は想像以上に苦しい状況であり、その影響が受注に大きく反映して状況は6月度同様50%以下で推移している。

【縫製】7月は生産数量は若干増産傾向。採用については、昨年と比べると求職者が多い傾向。

### 《木材・木製品》

【木材】この大変な時期に家を新築したり、リフォームしようとする人は確実に減っている。

【製材】コロナ禍により受注の減少が続く苦慮している。また対策として雇用調整助成金を取得している。

【木材】原木丸太の入荷量は、コロナウイルス・原木丸太の価格の減少により少なくなっている。

【製材】コロナ禍の影響で住宅着工数が減少し、売り上げが減少している。秋以降の見積り依頼も少ない。

### 《印刷》

【印刷】印刷物の需要が前月6月に比べ少し回復してきた。自粛していたスーパー・不動産関連の印刷物が動き出した。

【印刷】各種イベント等の中止に加え、第2波の影響で9月にかけての再開に待ったが、かかり製作が更に延期されたもの、中止されたものが出てきている。

### 《窯業・土石製品》

【生コン】昨年同月と比較してほぼ横ばい。梅雨の影響で7月前半はかなり出荷量が低迷した状態だったが後半特需工事の舗装にかなり、まとまった量の打設があったので全体的にある程度の出荷量になった。

【生コン】7月の出荷数量は、対前年同月比24%減であった。懸念事項としては、運転手の高齢化と人材不足が深刻な問題であり、今後の緊迫した課題として対応が迫られている。

### 《鉄鋼・金属》

【鉄鋼】新型コロナウイルス感染症の影響により、業況は厳しい状況が続いており、一部では稼働調整による設備操業度の低下がみられるなど、総じて生産活動は弱含んでいる。

【ステンレス】新型コロナウイルスの感染拡大に歯止めがかからない状況が続いているが、感染予防対策を実施しながらの経済活動の本格化に向けて対応を実施している。

## 《一般機器》

【機械金属】売上高や引合いなど、一部では、横ばい圏内の動きを維持しているところもあるが、かなりの組合員に減少傾向が見られ、景況感に悪化の兆しが見られる。

## 《非製造業》

### 《卸売業》

【各種商品卸】新型コロナウイルス感染症の影響によるステイホームと猛暑のおかげで売上高は維持できた。(家電卸)

【食糧卸】外食の停滞が長引き、消費が戻らない。

### 《小売業》

【ショッピングセンター】7月の売上高の前年対比は全店計105.6%(既存店106.9%)、客数98.3%(既存店100.9%)だった。先月と同様、閉店セールにより売上は前年対比100%を超えた。8月に入り何店舗かが改装のため閉店するが、150坪を超える売場を持つ店舗はそのまま営業するので大幅な売上減はないと思われる。

【電気機器】一般的にはコロナ拡大の悪影響のなか、猛暑により空調関連の商品の動きが良い。

【量小売業】梅雨明けが遅かった分、一般家庭用の仕事ができていない。持続化給付金などでしのいでいるところが多いが、コロナの県内拡大でますます厳しくなりそうだ。

【機械器具】コロナの影響は限定的であったが、パーツメーカーに影響があり来年度モデルの遅れが生じる可能性あり。

### 《商店街》

【徳島市】コロナの影響で客足が戻ってきてないようだ。

【徳島市】商店街はセールを行っているので少し増加。

【鳴門市】6月、7月は前年と同じ、または良い店が多い。(家具業界)

【阿南市】客足減少。

### 《サービス業》

【土木建築業】河川は改修事業費が前年度比、約85%になり、業務量も去年より少なくなった。道路は新直轄費が前年度比85%と減になったが、一般道の事業費が新直轄の減額分増える。交通対策課は無電柱化事業が去年より3倍になり、インフラの調整が大変になっている。道路管理課も去年に比べ、1.25倍の事業費(橋梁補修・耐震・補強)が多く発注され、忙しい。

【自動車整備】登録車の中古車販売台数以外は、前年度より下回る結果となった。全国的に見ると新車販売台数の減少幅はやや改善しているようだ。年後半に向けた販売回復に期待したい。

【旅行業】緊急事態宣言が解除されたこともあり、少しだけ動きが見られるようになった。

【ビル管理】新型コロナウイルス感染症の拡大回避の影響が顕著なホテル分野のメンテナンス業務においては、経営や人材確保、業務遂行方法などに影響があり、事業の縮小による減収や従業員の休業補償などが重い課題となっている。

### 《建設業》

【建設業】新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、民間建築工事が減少。県からガイドラインに基づく感染防止対策の徹底について依頼があり、会員に周知徹底をしている。

【板金工業】コロナの感染状況は、一旦落ち着き発注低下は回避されているようだ。

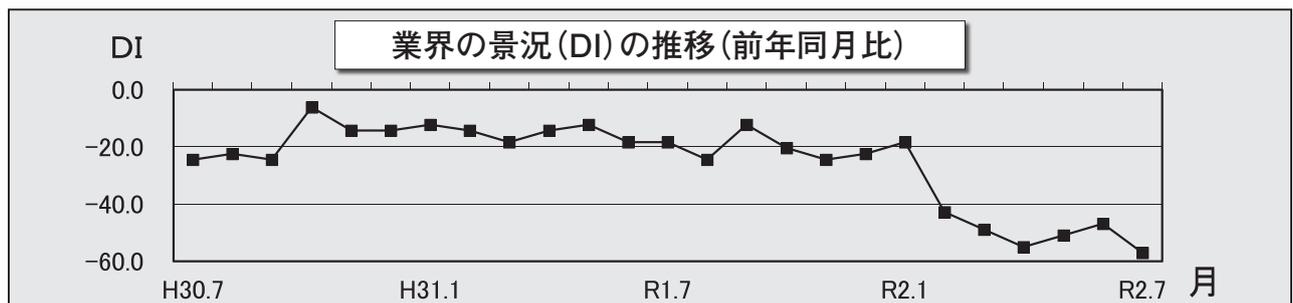
【電気工業】新設住宅口数は180件であり、対前年比74.6%と減少した。

【解体工事業】6月～7月にかけて公共工事の発注もあり民間解体工事も活況であるが各市町村で見ると斑模様である。

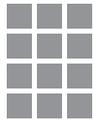
### 《運輸業》

【貨物運送業】産業団地内に入り出るトラックも大幅に減少している。この状況下にあっても軽油単価は前月比3円以上値上りし、今後も値上り傾向で運送業界は最悪の状態になりつつある。

【貨物運送業】新型コロナウイルスの影響は続き、多くの業種において貨物の輸送量は減少したままで先が見通せないとの声が多い。軽油単価が11週連続値上がり傾向にあり、高止まりするのではと不安な声も聞かれる。



\*DI値とは、各景況項目について「増加」(又は「好転」)業種割合から「減少」(又は「悪化」)業種割合を差し引いた値



# 青年部コーナー

## 青年部活動トピックス

### ◇ 令和2年度 徳島県中小企業青年中央会 第3回役員会 ◇

令和2年8月4日（火）、徳島経済産業会館3階会議室に於いて「令和2年度徳島県中小企業青年中央会 第3回役員会」が開催され、以下の提出議案を審議し、原案通り承認・決定されました。

- 第1号議案 今後のスケジュールについて
- 第2号議案 令和2年度組合青年部研修・研究会事業の申込状況について
- 第3号議案 徳島商業高等学校との包括業務提携事業について
- 第4号議案 会員親睦交流会について
- 第5号議案 その他
  - (1) スモールビジネスアドバイザー派遣の概要について
  - (2) WITH・コロナ「新生活様式」導入応援助成金の概要について



会長挨拶



役員会全景

### ◇ 徳島商業高等学校との包括業務提携事業 ◇

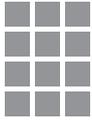
令和2年7月22日（水）、徳島県立徳島商業高等学校において、Jimdoを活用したホームページ作成支援事業が実施されました。実施対象として8件の企業が選ばれ、それぞれに徳島商業高等学校の生徒が専属で数人体制のチームを作って、ホームページ作成にあたりました。クライアントの要望を反映したホームページにするため、各社と綿密な打ち合わせを行っていました。



HP設計のため、徳商で打ち合わせの様子

## ★今後のスケジュール★

- 四国ブロック中小企業青年中央会 交流会議（令和2年11月上旬 香川県）
- 第4回役員会（令和2年11月中旬 徳島県）
- 徳島県商工3団体青年部 四国トップ会議（令和3年1月下旬 香川県）
- リーダー研修会及び新年互礼会（令和3年2月上旬 徳島県）
- 四国ブロック中小企業青年中央会 会長会議（令和3年2月中旬 徳島県）
- 令和2年度組合青年部全国講習会（令和3年2月26日 群馬県）



# 女性部コーナー

## 女性部活動トピックス

### とくしまレディース中央会 会員募集中

とくしまレディース中央会は、令和元年6月2日に発足し、県内企業の女性役職員で構成する中央会傘下の組織です。バイタリティにあふれた中本会長を筆頭に、会員間の交流や鳥取女性中央会との連携により、相互研鑽の場として活動し始めたところでもあります。

ただいま新規の会員様を募集中でございます。コロナ禍の今こそ自分を変えていくチャンスと捉え、私達とくしまレディース中央会の仲間と一緒に歩んでみませんか。

#### 中本会長よりメッセージ

四国で昔から言い伝えられている言葉に「讃岐男に阿波女」という言葉があります。諸説ありますが、『阿波女（徳島県の女性）はとても働き者だから、穏やかな性格の讃岐男（香川県の男性）との組み合わせは理想である。』と言われております。

阿波商人をルーツに持ち、働き者で、明るく活動的で経済観念が発達しているが故、女性社長比率が全国2位であり、全国で女性が最も活躍しやすい県とも言われており、今春には全国最年少の女性市長が誕生しました。

阿波踊りをみても、女性が先頭を切って生き生きと自信に満ちた晴れやかな笑顔で躍り込んできます。今年は新型コロナウイルスの影響により阿波踊りも戦後初めての中止となり、本当に残念な結果となりました。その分、潜在意識にある無限のパワーが沸々とマグマのように活動する場を求めているのでしょうか。現在会員の皆様もパワーに溢れた魅力的な方ばかりです。毎回活動を共にすることで、刺激になり、資質向上の恩恵を受けております。気付かずにいるあなたの魅力を輝かせてみませんか。

ご入会を心よりお待ちしております。



会長  
中本 ユミ子

#### とくしまレディース中央会の概要

**活動目的：**徳島県内の中小企業組合の女性役職員、中小企業組合に所属する企業の女性役職員等をもって構成し、女性特有の感性や英知を結集して女性の新たな活躍を推進すると共に業界の振興発展に寄与することを目的とする。

**活動内容：**①会員ニーズに応じたセミナーの開催②交流会の開催③全国レディース

中央会交流事業への参加④鳥取女性中央会との交流

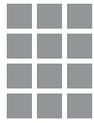
**会員数：**32（法人会員13、個人会員19）

**代表者：**会長 中本 ユミ子  
(柔道整復師会協同組合 専務理事)

**年会費：**法人会員：5,000円/年  
個人会員：3,000円/年

#### お問い合わせ先

徳島県中小企業団体中央会 連携推進課  
三木まで (TEL 088-654-4431)



## 令和元年度補正・令和2年度補正 「ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金」 補助金交付申請説明会を開催

令和元年度補正・令和2年度補正ものづくり・商業・サービス生産性向上促進補助金2次公募については、令和2年3月31日から5月20日までの期間に行われ、全国から5,721事業者からの申請がありました。全国審査会において厳正な審査を行った結果、3,267事業者が採択され、このうち、本県からは26事業者が採択されました。

採択発表を受けて、令和2年7月9日、徳島市のホテルサンシャイン徳島アネックスにおいて、採択事業者を対象に、補助金交付申請説明会を開催しました。

事業実施の責任者及び補助事業に関する経理処理等の実務担当者などに対して、事業実施上の留意事項、委託関係業務手順、補助金に関する事務処理等を説明しました。

本年度はこの後、現在応募受付中4次締切（応募締切11月26日）、その後5次締切（応募締切令和3年2月）を予定しています。



## 令和2年度第1回BCP策定講座を開催

令和2年9月17日、徳島市の徳島県立工業技術センターにおいて、令和2年度第1回BCP策定講座を開催しました。

講師に株式会社フォーサイトコンサルティングの五十嵐雅祥氏をお招きし、BCPの目的や策定手順、今後のBCP策定作業についての説明を頂きました。

本年度の受講企業は、5企業から申し込みがあり、令和3年2月まで集合研修や企業訪問を行いながら、6回にわたり各社BCPの策定に取り組んでいくこととしています。

当会では、徳島県内においてより一層のBCP普及と実効性のあるBCP策定に向けて

の支援活動を今後も行っていくしますので、ご興味をお持ちの皆様は是非とも次年度以降の本講座へのご参加をご検討ください。



組合活性化情報令和元年度第1号から中央会事務局職員が会員の皆様に、より親しんでもらえるよう、プライベートなこと（趣味、特技、熱中している物事、最近気になっている物事など）について、綴っていきます。第6回目は、阿部係長です。

**阿部 浩士** [連携推進課 係長]

申年 山羊座 血液型O型 / 平成14年4月1日入職

① 自己紹介

生まれも育ちも徳島です。大学の4年間だけ、大阪で暮らしていましたが、徳島に愛着があり、家庭環境も4歳離れた姉がおり、長男かつ末っ子という立場でもありましたので、お客様のお役に立っていることを実感できる仕事に就きたいと考えていましたところ、本当に運良く中央会で働かせていただけることになりました。新卒での入職ということもあり、本当に世間知らずだったので色々な方にご迷惑をかけ、組合や企業の方々から多くの事を教えていただきながら17年が経ち、ようやく少しご恩返しができるようになってきました。中央会の業務は中小企業組合や中小事業者の皆様を総合的に支援させていただくという、非常に守備範囲の広いものですので、経験を積みれば積むほどまだまだ底が見えず、本当にやりがいのある仕事です。2年前に良縁に恵まれて、妻のサポートのありがたさを感じつつ、お客様から「中央会に相談してよかった」と言っていただけのように頑張っています。

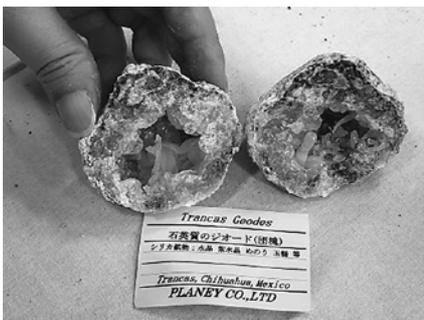
② 趣味について

蒐集癖が非常に強く、趣味の話をするとう止まらなくなってしまう、いわゆるオタク体質です。大工道具などの手仕事の道具の蒐集にはじまり、銘木や土埋木の蒐集、民藝の蒐集、最近一番夢中になっているのは鉱石や宝石の蒐集です。興味を持ったことは嬉々として調べてしまうので、それぞれの業界のかたとお話しするとマニアックすぎて呆れられることもしばしばです。幸いというか不幸というか、体質的にアルコールが全く飲めないのも、夜遊びに使うお金を蒐集に回すことができ、妻までもが同じ趣味なため、止める人がいない暴走機関車状態です。そんなこんなでこの先の生活が不安になりますが…、お金を使うことだけが蒐集

の醍醐味でもない、自分で拾いに行ったり、価値が低いといわれる物の中にも魅力を見つけたりして楽しんでいます。蒐集に関しては欲しい人がどれだけいるか、有名かどうかは価格に大きく影響しているので、自分が気に入ったものが安く手に入ることがあります。そういったものを探す行為そのものも大変楽しく、奥深いものです。石の業界はとて狭く、業者のかたも石マニアであることがほとんどなので、時間を忘れてお店の人と石談義をし、店主のコレクション（売り物ではない）を見せられ、こちらにもコレクション（持ち歩いて）で応酬するという、はたから見ると一体何をやっているんだと呆れられてしまうようなやり取りも楽しくて仕方がなく、蒐集に拍車がかかります。今年に入ってからコロナウイルス感染症のせいで県外の大きな展示会や馴染みのお店にも顔を出せていません。同じ趣味だよ、というかたがいらっ



四国有数のホットスポット、愛媛県の関川で転石採集。岩石の中にザクロ石（ガーネット）の結晶が沢山入っています。



ミニチュアの晶洞。岩石の隙間に水晶などの成分が溶け込んだ熱水が流れ込み、小さな世界を作り出します。



# お知らせコーナー

## 【新型コロナウイルス感染症対策】

### 新型コロナウイルス感染症 感染拡大予防の徹底を！

最近の徳島県内の発生例では、高齢者や家族内での感染事例が増加しています。そこで、県民・事業者の皆様には、改めて、感染拡大の防止に向けた対策の徹底をお願いいたします。

特に、「高齢者」や「家族内」での感染を避けるため、

- ・友人・仲間や家族内でも感染対策を行っていただきたいこと
- ・家族内にウイルスを持ち込まない対策を講じていただきたいこと
- ・高齢者は重症化のリスクがあることから、

感染予防に十分に配慮をしていただきますようお願いいたします。

#### 徳島県新型コロナウイルス感染症対策本部からのお願い

## 新型コロナウイルス感染症 感染拡大予防の徹底を！

令和2年9月8日

### 高齢者や家族内での感染が増えています。

#### 基本対策

- ・3密の回避
- ・マスク着用
- ・咳エチケット
- ・手洗い手指消毒
- ・大声を出さない

#### 特に注意

- 友人・仲間や家族内でも感染対策
- 家庭内にウイルスを持ち込まない
- 高齢者は重症化のリスクが高く配慮する

#### 中高年、特に高齢者の皆様へ

- ▶ 人が集まる場所や飛沫感染のリスクの高い場所での感染予防の徹底  
3密の徹底回避、長時間の滞在を控える、体調が悪いときは利用をやめる  
❗ 歌唱を伴う飲食店、公民館やコミュニティセンター等での地域の集まりなどは特に注意を！
- ▶ 職場での感染予防対策の徹底  
換気の徹底、体調不良時に休暇を取得しやすい職場環境づくり  
大声での会話は避ける、ソーシャルディスタンスの確保
- ▶ 飲食の場での感染予防の呼びかけ  
感染拡大予防ガイドラインの実践状況を確認  
対面や至近距離で座らない、  
カラオケの際はマスク・フェイスシールドの着用、マイク消毒の徹底

#### 若者の皆様へ

- ▶ 体調が悪いときは行動を控える  
仕事、宴会、レジャー、帰省などの行動の延期や中止
- ▶ 飲食店等を利用する場合  
感染拡大予防ガイドラインの実践状況を確認  
対面や至近距離で座らない、大声での会話は避ける、  
カラオケの際はマスク・フェイスシールドの着用、マイク消毒の徹底

#### 医療従事者・介護従事者の皆様へ

- ▶ 感染リスクの高い場所に行かない

もう一度、気を引き締めて感染対策をお願いします

# 編集 後記

◆第156号発刊にあたり、関係機関の方々からご協力いただきありがとうございました。厚くお礼申し上げます。

---

◆特集では、「2020年版中小企業白書・小規模企業白書のポイント」について紹介させて頂きました。詳細については、中央会までお問い合わせ下さい。

---

◆ものづくりの達人では、株式会社小谷義肢を紹介しました。同社が少子化による人材育成の課題を見据え、業界でいち早く義肢装具の製造システムのIT化を推進され、製品の高品質化と顧客満足度の向上を図り、他社との差別化に取り組まれたお話を伺いました。また、新型コロナウイルス感染拡大の影響で延期となった東京オリンピック・パラリンピック競技大会を控え、選手の育成やトレーニング環境の課題などについて深く知ることができました。この度は貴重なお時間を頂きありがとうございました。

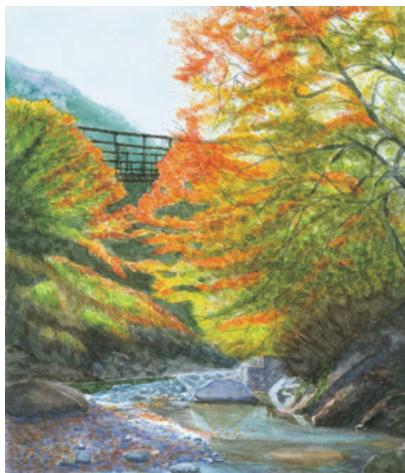
---

◆新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、今年の阿波おどりは中止となり、寂しい夏となってしまいました。ようやく暑さがおさまり、日増しに秋が近づくを感じます。行楽の秋といわれるように、秋は旅行にぴったりの季節となりますが、新型コロナウイルスの影響により例年とは少し異なる生活様式の季節となりそうです。

最近、マスクの一時深刻な品薄状態も和らぎ、様々なデザインのマスクが出回っていますので、おしゃれにも気を遣っていきたいと考えています。

vol. 02  
令和2年度 第2号  
(年間4回発行 通巻第156号)

組合活性化情報  
中央会とくしま



秋の奥祖谷 水彩画/布川 嘉樹